

## 2016年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	眞鍋 倫子		
NAME	Rinko MANABE		

## 1. 研究課題

職業教育の効果におけるジェンダー差に関する日英比較

(英文)

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

今年度は完成年度であったが、十分な成果を得ることができていない

2017年8月に渡英し、英国における職業教育の現状についての資料収集を行った。しかし、ジェンダー差を検討するところまでは至っていない。

日本についても、今後の研究を進めるために、複数の専修学校高等課程の職員との懇談を行った。今後、基礎研究費や科研費を利用して、質問紙調査及びインタビュー調査を行う準備を売ることができた。また、既存の統計を用いて、専門学校を卒業した者の労働市場における地位、どのような男女差がみられるのかについて検討を続けてきた。結果としては、男性に比べて女性の専門学校卒業者は正社員になりやすく、雇用条件も良いことが多く、専門学校教育が経済的にもキャリアの面からも効果を持つことがわかった。他方で、男性の場合には高卒との差がほとんどなく、追加的に専門学校教育を受けることの経済的な意味がほとんど見られないことがわかった。

今後、収集してきたイギリスのデータを用いて、比較検討を行う予定である。

(英文)